

# 公共施設の あり方を考える

— 高浜市を次世代へ  
つなぐために —

「高浜市の主要な公共施設のあり方」

市では、平成21年度から公共施設の老朽化問題が喫緊の課題ととらえ、公共施設のあり方検討に取り組んできました。今年11月からは新庁舎の建設工事や小学校区ごとの市民説明会も始まり、高浜市を次世代へつなぐための具体的な一歩を踏み出しています。

市民の皆さんと現状・課題を共有し、ともに知恵と工夫を出しあって、この問題に向き合っていくため、今回は、主要な公共施設の現状と、現在の検討の方向性の概要について紹介します。

## ■主要公共施設の現状と現在の検討の方向性（概要）

主な施設名 (機能)	現状			公共施設あり方計画 (H26.6策定)における 位置づけ	現在の検討の方向性
	建築年度	延床面積	年間利用者数 など		
市立図書館 (図書館機能)	S44	1,707㎡	67,464人	機能を高浜小学校などに移転させ、複合施設とします。 〔計画期間:H29~H31〕 ※堤外地に立地し、液状化の危険性あり。	従来の図書館ではなく、子どもに特化した特色のある図書館づくりを検討していきます。 ※小学校の敷地を考慮し検討
かわら美術館 (美術館機能)	H5	4,669㎡	52,121人	大規模改修による長寿命化、保有形態の見直しによる効率化を図ります。 〔計画期間:H38~H41〕	<b>計画を前倒し!</b> 運営のあり方を見直し、美術館のあり方を今後5年間で検討します。
中央公民館 (集会機能)	S55	4,091㎡	73,354人 ※利用率15%	スペースの有効活用による施設の複合化・集約化を図ります。 〔計画期間:H30~H33〕	<b>計画を前倒し!</b> ・公民館機能→他の集会施設へ機能集約化を図ります。 ・ホール機能→高浜小学校の更新時に機能の複合化を図ります。 ・商工会→移転を検討中です。
体育センター (スポーツ機能)	S52	1,259㎡	28,049人	機能の集約化、機能移転と複合化によるスペースの効率的利活用を図ります。 〔計画期間:H29~H31〕 ※耐震対策未実施 ※堤外地に立地し、液状化の危険性あり。	高浜小学校などに機能を移転させ、複合施設とします。 ※小学校の敷地を考慮し検討
青少年ホーム (集会機能)	S49	694㎡	11,069人 ※利用率8%	スペースの有効活用による施設の複合化・集約化・保有形態の見直しによる効率化を図ります。 〔計画期間:H28~H30〕	施設を民間に移譲、機能の集約化によるスポーツ拠点の形成をめざします。
南テニスコート (スポーツ機能)	S57	—	32,365人 ※利用率39%		
市営住宅 ①葭池住宅 ②芳川住宅 ③湯山住宅 ④東海住宅 ⑤稗田住宅	S39 S55 S57 S61 H1	320㎡ 1,581㎡ 3,305㎡ 3,693㎡ 1,569㎡	—	計画的修繕を行いつつ、民間ストックの活用(新民間賃貸住宅・家賃助成)に向けた検討を行います。 〔計画期間:H28~H30〕	—

◆公共施設のあり方検討に関する詳しい内容は、市公式ホームページのトップバナー「公共施設マネジメント」をクリック!

問合せ先 圃行政グループ ☎52-1111 (内線351)